



## 「豊かな水と緑、光あふれる田園文化のまち」 進化のために

市民の皆さまにおかれましては、ご家族お揃いで輝かしい初春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。旧年中は、市政の様々な分野にわたり、市民の皆さまの温かいご理解とご協力をいただき、大変ありがとうございました。

新しい年は、世界金融の混乱や景気の低迷を打破し、経済の安定を取り戻す新たな社会秩序の構築に向けた世界的な潮流を感じます。このよきな景気の不透明な動向を的確に見極め、国と自治体間の関係のあり方をふまえて、自立可能な都市づくりを努力を重ねていく所存ですが、自治体財政も引き続き厳しい状況にあります。

今後、住民福祉の向上に必要な施策の展開を確保すべく、確実な財源措置を図るために、全庁レベルで組織や事業の再点検を行い、さらに効率的な行財政の改善に努めてまいります。

それから、市民の皆さまの参画と協働のもとに企画しました、市街地巡回バス「きくちべんりカー」の利用者が昨年11月に延べ10万人を突破し、「きくちあいのりタクシー」も1月下旬には延べ3万人を突破する見込みです。さらに拡充を図ってまいります。

また、緊急「経済・景気」対策として、昨年12月1日から販売を始めた地域通貨「一会」が9日間で売切れるなど、市民参加のまちづくりが醸成されつつあります。

今年3月22日には合併満4周年を迎えますが、本市まちづくりの基本理念である、「豊かな水と緑、光あふれる田園文化のまち」の進化のため

めに、自らに課せられた責務の重さを再認識し、地域の行政に携わる者として、大きな変革期に巡り合わせたことをむしろ幸福と考え、力を尽くして取り組んでいきたいと思っております。

本年も市民の皆さまのより一層のご支援と、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、ご家族ともども、ご健康で幸多い年でありますことを心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

平成21年 元旦

菊池市長 福村 三男

# 迎春

## 明けましておめでとーうございます



## 皆さまの負託に応え、 菊池市の発展に尽くします

皆さまには、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。日ごろより私ども市政会にお寄せいただきましたご支援とご協力に対し、心より厚くお礼を申し上げます。

合併後3年が経過し、市議会としても市民の皆さまの負託に応えるべく、一丸となって活気あるまちづくりに取り組んでいく所存です。

百年に一度と言われる世界的経済不況に併せ、国における地方分権の推進、三位一体の改革により、地方自治体の財政状況は非常に厳しく、今後さらなる厳しさを増していくものと思われまます。

本市においては、急速に進展している少子高齢化の問題、地域経済の活性化、特に昨年から原油高騰による燃油・資材・製品価格の上昇などで弱体化した農業や、商工業の景気浮揚策など課題も山積しており、早急かつ真剣な取り組みが求めら

ています。

特に財政基盤の確立は最も重要な課題であり、議会においても、地域の新たな雇用の創出、定住者の促進、自主財源の確保など地域経済活性化のため、企業誘致促進特別委員会を設置、県に対し誘致要望など、執行部ともども全力で取り組んでいるところであります。

また、議会独自で議会活動の効率化、スリム化、経費削減化などを目的とした議会改革特別委員会を設置し、検討を重ねてきました。特に議員定数については、12月定例会において5名減の定数23名で報告をしたところであります。

一方で市民生活の基盤である道路や上下水道、公園、公共施設などのインフラ整備も重要な取り組みです。市民生活の利便性の向上や安全性の確保、潤いのある住環境の整備など、新市建設計画に基づき進められてきているところであります。

私たち議会でも市民の皆さまが快適に日々の生活を送れるよう、「安心・安全都市宣言」に関する決議「菊池市地産・地消推進のまち宣言」に関する決議」を提案し、全会一致で採択しました。

本年も多くの課題に向け、市民の皆さまのご期待に応え得るよう、決意も新たにしております。併せて、菊池市の均衡ある発展に向け、住民代表機関として政策形成や監視機能など、積極的な活動を行い、より身近で市民に開かれた公平・公正な議会運営に向け鋭意努力していきたいと思っております。

本年もさらなるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、新年のご挨拶といたします。

平成21年 元旦

菊池市議会議長 北田 彰